

起因物、事故の型：人力運搬機 - 交通事故（道路）の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	10～11	事務所近くの歩道にて自転車走行中に歩道中央に設置してあるポールに気付かず衝突し左膝を負傷した。	60	130201	1～9
1	7～8	構内の横断歩道上にて、トイレから営業車両に戻る途中にて、自転車と衝突して負傷した。	55	40201	50～99
1	4～5	路上に於いて、配達する新聞を自転車の後ろに積み、下り坂を自転車に乗って下っていたところ、自転車後部の重さでバランスを崩し転倒した際、左足首が自転車の下敷きとなり負傷した。	57	80205	30～49
1	8～9	訪問介護サービスにて、事業所から現場へ電動自転車で移動中（小雨で路面は濡れていた）、坂道に入るため左へカーブした際、スリップして転倒しそうになり、左足で踏ん張ったが踏ん張りきれず転倒し、左足が自転車の下敷きになり負傷した（左足関節脱臼骨折）。	53	130201	1～9
1	4～5	新聞配達中、道路が凍っていて転倒し、自転車ごと倒れた。	71	170209	1～9
1	9～10	傾斜の長く続く道路でリアカーを引く自転車で下っている時に次の配達先手前でブレーキをかけはじめた際、バランスを崩して右側へ転倒し、右半身を打撲し、左手親指の靭帯を裂傷した。	49	40301	30～49
1	9～10	被災者は、出張先のホテルから顧客宅に向かう途中において、自転車を運転し、信号のない丁字型交差点の直線路を直進していたところ、突き当たり路から左折してきた四輪車の相手に衝突されて受傷した。相手方に一時	53	170209	30～

		停止規制があり、相手は一時停止を履行したが、左折先を十分に確認せずに進行してきた。			49
2	17~18	利用者のケアを終え自転車で移動中、歩道を右側からスピードを出した自転車に出会い頭衝突し、自車は右側に転倒し右肘と腰部を打撲する。	35	130201	10 ~ 29
2	11~12	訪問介護利用者宅に向かうため、自転車で走行中にトラックが猫か何かを避けようとして激突した。	26	130201	—
2	18~19	自転車でお客様宅へ向かう途中、前方から来た自転車をよけようとした際、転倒しかけたのを踏ん張って受傷した。	34	90103	—
3	16~17	屋根つき50ccバイクで商品を配達中、車線変更をした際に転倒し、身体を損傷した。	40	170209	10 ~ 29
3	15~16	利用者宅へ自転車で移動中、横断歩道を横断しようとした際、自転車を降りて車の通行が途切れるのを待っているとき、駅方向から来た車が停車したため、自転車を押して横断を始めた。そのあと道路の4分の1程進んだところで、駅方向から来た自転車と衝突して転倒し、右腕を骨折した。	55	130201	300 ~ 499
3	17~18	営業部より顧客宅を訪問する為、自転車で雨の中ビニール傘を差して運転中、交差点の手前で車が渋滞のため停車中に、車両の右側に出たところ対向車と接触し転倒した。尚、停車車両の左側は空間が狭く、自転車での通行が不可と判断し、右側に出た。	43	90103	500 ~ 999
3	12~13	自動車バックで進入してきたため荷卸しのため近付いた際、普段通りのスピードだったためそのまま止まらと思ったが止まらず、轢かれて後方に倒れた。	65	130109	100 ~ 299
4	7~8	被災者（甲）は自宅を出て、自転車で就業場所へ向かっていた。商店街を走行中、左側から急に走って飛び出してきた子供を避ける為にハンドルを右に切った際、バランスを崩し転倒し、頭部、顔面等を負傷した。なお、甲は通常、事務作業や顧客開拓の業務に従事しているが、事故日当日は人	26	170101	1~ 9

		員配置の都合上、派遣先での就業となっていた。			
4	7~8	職場Aから職場Bへ向かう途中、事故現場にて前方の歩行者2名を避けようと左側に寄った際、対向自転車のハンドルが接触し、バランスを崩し左側の壁に接触し、右側に転倒した際に右膝を強打した。	66	150101	300 ~ 499
4	15~ 16	駅周辺の公道で電動自転車の自走試験を行っている最中、赤信号停止後、重いギアで再出発した際に十分なスピードが出ず、バランスを崩し立ちこぎした際に転倒し、右肩を骨折した。	56	170101	100 ~ 299
4	11~ 12	路上にて、介護保険サービス利用者宅より自転車にて当施設に戻る際に車道と歩道との段差でバランスを失い転倒し、左手と右足を負傷した。	61	130201	30 ~ 49
4	10~ 11	雨天時、利用者宅から利用者宅へ電動自転車で移動中、車道を走行していたが後ろから車がきたので歩道へ入ろうとしたところ、タイヤが滑って転倒し、右目下、右膝、両手を負傷した。	43	130201	10 ~ 29
5	10~ 11	週末の売上金を自転車の前カゴに入れ、銀行へ入金に行く途中、店舗裏の駐車場入口付近で車道より歩道へ入ろうとしたところ、縁石で自転車の車輪が滑り、バランスを崩して歩道側へ転倒し、左足関節脱臼骨折をした。	45	80209	10 ~ 29
5	18~ 19	自転車で書類の配送中、配達をして、次の届け先のビルに向かう時に、歩行者を避けるためにガードレール側へハンドルを向けた際に、ガードレールの支柱に左手薬指が接触した。	34	40309	100 ~ 299
5	11~ 12	信号無しの交差点で営業活動中に、自転車で走行している時に、子供が右側から飛び出し、急ブレーキ・急ハンドルにて避けたが、本人は転倒し左肘を骨折した。	24	90101	10 ~ 29
5	13~ 14	工場2地区内工内通路を自転車で移動中、進行方向から右折しようとした際、雨上がりで濡れていた四角いマンホールの蓋で滑り、自転車及び自身が転倒して左肘を強打した。	46	170201	100 ~ 299
5	12~ 13	代金の集金に行き事務所へ帰る途中、交差点で一時停止しようとしたとき、乗っていた自転車の不慣れであったためバランスを崩し、左側に倒れ	54	80205	30 ~

		たときに股関節を強打し骨折した。			49
5	9~10	1件目の訪問先に自転車で向かう途中、側道を右折した時後輪が滑って転倒し、その時に左膝を強打し、強い痛みを感じた。	44	130201	30~49
6	9~10	訪問介護サービス中、先のお客様宅から次のお客様宅へ移動中、右折しようとした際に自動車が見え、グレーチングの上にタイヤがのった時にブレーキを掛けたため、タイヤが滑り右側に転倒し、負傷した。	42	130201	50~99
6	12~13	訪問介護のヘルパーとして勤務中、電池を購入するため、利用者宅から近所のコンビニに行き、利用者宅へ自転車で戻る途中、点字ブロック上で滑って転倒した。その際に着地を誤り、一度事業所へ戻るが痛みがひかず、腫れが酷くなった。右足首の関節脱臼骨折と診断された。	37	130201	10~29
6	12~13	午前中の仕事を終え、事務所へ帰る途中の交差点で横断の際、路面が濡れていたため、ブレーキを掛けた時にタイヤがスリップし転倒した。	53	130101	10~29
7	11~12	相手方自動車が駐車場から左折するため、歩道上と駐車場で切り返しを行っていたところ、当方自転車が通りかかり、相手方自動車の後部に接触、右側に転倒し負傷したもの。	58	110101	500~999
7	11~12	訪問先の駐車場で診療道具を片付け、ドアを閉める際に、自身の頭にドアをぶつけてしまった。	52	170201	10~29
7	9~10	交差点にて自宅から勤務先に自転車で向かう途中に起きた十字路の交差点を自転車で乗って直進していたところ、交差点の左から直進してきた車と接触した。車の右バンパーと自転車が接触し自転車ごと右側に倒れる。	35	130201	1~9
7	19~20	集金業務中路上にて、次の集金先に移動するため電動自転車に乗車する際、坂道だったこともあり乗った際にバランスを崩し転倒した。	37	80205	10~29

7	4~5	道路を自転車で新聞を配達中、気分が悪くなり自転車より転倒し、右手首を骨折した。	66	80205	30 ~ 49
7	4~5	カゴ台車に入った食品を駐車場から店舗に納品する際、昇降機に載せる時に台車（カゴ車）が倒れた。	56	40301	10 ~ 29
7	14~ 15	下り坂を自転車にて走行中に帽子を飛ばし、咄嗟に振り向いたところ自転車のバランスを崩して転倒した。	57	80409	30 ~ 49
7	16~ 17	作業終了後、現場詰所から自転車で事務所に戻る途中、自転車のチェーンが外れ、外れたチェーンが自転車のタイヤに食い込んだためロック状態となり、つんのめる形で右顔面部から転倒した。	20	80401	10 ~ 29
7	11~ 12	交差点を自転車で走行中、停止すると思っていた車が左側から走行して来てぶつかり、転倒して怪我をし、救急車で搬送された。	43	90103	50 ~ 99
7	15~ 16	夕刊配達完了後、客宅を出て歩道内に停車した自転車に戻るとき、走行して来た男子学生2人組のうちの1台に、客宅と停車した自転車の隙間にてはねられた。	60	80205	10 ~ 29
9	13~ 14	職場の駐輪場から自転車で帰宅しようと敷地境界にあるポールとポールの間を通ろうとした際、右によりすぎて右側のポールに自転車が当たってしまい右側を下に転倒し、右手を地面についた時に、右手首を痛めた。	69	130201	100 ~ 299
9	11~ 12	介護を行った利用者宅から次の利用者宅へ向かうため、電動アシスト自転車（26インチ、全長1,880mm、全幅585mm、ハンドルの高さ770~895mm、重量25.5kg、バッテリー容量8.9Ah）に乗り、歩道の車道側を走行中に横断歩道を渡ろうとし、赤信号だったためブレーキをかけ止まろうとした際、バランスを崩し自転車ごと転倒、左膝と左手の手の平を負傷した。	73	130201	10 ~ 29

9	3~4	110ccバイクにて朝刊の配達途中、道路を走行中、十字路交差点に進入した際、右側から走行してきた自転車（他新聞社の配達員）が無灯だったこともあり発見が遅れ、交差点内で接触（バイク後輪に相手が接触）し転倒した。その際に地面で左肩を強打し、鎖骨を骨折したものである。	64	80205	10 ~ 29
9	12~ 13	勤務地と自宅が近い為、昼食を食べに家に帰り、再度会社に戻る途中、自転車に乗って後方を確認した時にバランスをくずして転倒して左手、右膝を負傷した。	68	130102	100 ~ 299
9	10~ 11	次の訪問先へ移動のため、自転車で道路をゆるやかな下り坂を下って走行中、前方から上がってきた自転車の女性が少しふらついたので衝突を避けようと左へハンドルを切った際、雨が降り地面が濡れていた事もありタイヤがスリップし自転車が左へ傾き、はずみで左へ体が転がり自転車から転落した。	38	130102	100 ~ 299
10	17~ 18	自転車で会社にもどる途中車道から歩道に移動する時雨でスリップ転倒。	64	170209	1~ 9
10	13~ 14	当事者自転車にて走行中、交差点にて左折。左折直後、正面より車両がきており、正面衝突を避ける為に、自ら左側に転倒し受傷。車両との接触なし。なお、左折後の道幅が狭く、車両の左側をすり抜けることが出来なかった。	65	130109	1~ 9
10	11~ 12	道路左側の歩道を歩いていた時に、後方から走ってきた自動車に追突された。加害者は前から来た車と歩いていた被害者を避けようとしたが、ブレーキをかけ損ね、ノーブレーキで追突された。後方から突然の追突で一切身構えが不可能で飛ばされ地面に叩きつけられ負傷した。	44	80209	10 ~ 29
10	9~ 10	利用者の自宅へ訪問し、スーパーにて買い物を頼まれたので自転車にて走行中、大きい通りを走ってきた自転車に細い道から自分が出た瞬間、出会い頭に驚き転倒し、右足を負傷した。	62	130201	10 ~ 29
10	17~ 18	利用者様宅から自転車で帰社途中、右折車が出て来たのでブレーキをかけたところ、台風で路面が濡れていたためタイヤが滑り転倒した。左半身に打撲と擦過創を負った。	57	130201	50 ~ 99

10	11～ 12	お客様宅訪問のため、自転車で走行中道を違えたため、戻ろうとした時に重心が右に傾き自転車ごと倒れた。	28	90103	500 ～ 999
10	14～ 15	自転車走行中に後方よりトラックが追い越しをかけてきたところ、対向車がみえたためハンドルを左側に切った結果、左側を走行していた被害者運転の自転車で接触し転倒した。	58	90103	100 ～ 299
11	17～ 18	訪問介護活動後の報告のため、自転車に乗り事務所へ向かっている途中、交差点を横断していた時、前方の自転車が急停止したため、それを避けるため、咄嗟にハンドルをきった際、電柱にハンドルを握っていた右手指の付け根、甲部を強くぶつけてしまった。その日は、患部を湿布し自宅療養したが、翌日、痛みも治まらず、腫れてきたので受診した。	55	130201	50 ～ 99
11	16～ 17	道路脇にて集金のため自転車で移動中、前から歩いて来た女性を避けようと思い、自転車を止めて足を着いたところに段差があり転倒した。左手を痛めたので、すぐに近くの病院に駆けつけるも往診できず、次の日の朝に再来院しての受診となる。	80	80205	30 ～ 49
11	11～ 12	1つ目の現場を終え、2つ目の現場に自転車で向かっている途中、災害現場である坂になっている歩道を下っていた際、自転車の前カゴに入れていた制服などが入った袋が右側のポールに接触し、その勢いでバランスを崩し左側のガードレールに衝突し、自転車を巻き込む状態で仰向けに転倒し全身を地面に強打し負傷したものである。	69	170201	100 ～ 299
11	13～ 14	チラシ投函業務において、自転車で移動中、車輪が線路の溝に引っ掛かり誤って転倒した。左手首骨折と診断された。	69	80409	500 ～ 999
11	18～ 19	外勤営業の際、坂道を電動自転車で走行中にブレーキをかけた時、タイヤがロックした状態となり転倒し、自転車が被害者の腹部辺りに直撃した。	53	170209	10 ～ 29
11	14～	業務の為、自転車で走行中に坂道の途中で左に曲がろうとした際に転倒	33	130201	1～

	15	し、左第3、4中足骨骨折をした。			9
11	11~12	駅近くの道路の左側を自転車で走行中、左折しようとスピードを落とした際に、後方から来た自転車が避けきれず、右後ろに接触し、転倒、左膝をついた。	63	130201	~99
11	8~9	就業場所を移動中に交差点の横断歩道を自転車で渡ろうとした際、通行人と接触しそうになりハンドルを切ったところ段差にはまり転倒した。	63	170209	~299
12	12~13	被災者は、原付バイクで住宅街の交差点を走行中、直進して交差点に進入した。一時停止しのため、一時減速した後、再び加速し、時速約20km程度で進入した所、進行方向右手から、自転車が一時停止をせずに進入してきた為、被災者のバイク右側面と相手方の自転車の前輪が接触し、路上で転倒し、ガードレールに左上半身から衝突し、左鎖骨の骨折に至った。	49	130109	~29
12	16~17	交差点を自転車で走行中、交差点内で車にはねられ、現在も意識不明で入院中である。	63	90103	~49
12	17~18	利用者の買い物のケアで自転車にて移動中、角をゆっくりと左折したところ、前方から勢いよく来た自転車と接触した。こちらはスピードを出していないので止まることはできたが、バランスを崩して倒れ、咄嗟に左手をついた。	76	130201	~29
12	11~12	自転車で就業場所から利用者宅へ訪問中、不注意で側溝にはまり、フェンスで顔面を強打し、左膝を打撲した。	48	130201	~49
12	15~16	事務所から電動自転車で戻る途中、坂道でスピードが出すぎてカーブを曲がり損ね、側面（壁）に激突した。	49	80209	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html

